

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和5年度 第3回地域ケア推進会議を開催！

11月28日に、今年度第3回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議が開催されました。

今回は市役所各課・社会福祉協議会などから多くの報告・発表が集まり、2つのグループワークを通じ活発な意見交換が行われました。



発表者は認知症初期集中支援チーム、小諸市役所健康づくり課・高齢福祉課、そして生活支援コーディネーターの皆さんでした。簡単に今回の会議の内容を振り返ってみましょう。

「移動」に関する地域支援に取り組めます！

これまでに地域ケア推進会議では、「高齢者の生活ごみの支援」「地域の担い手」などの地域課題に取り組み、一定の成果をあげてきました。

今回、生活支援コーディネーターが地域の声として把握しているなかで「移動に不安がある」「移動手段に困っている」という声が多くあがっていることから、『移動』に関する地域課題に取り組むことにしました。

今回の会議では3つのテーマに沿って考えました。

- ① 移動に困難を抱えている人の声、エピソード
- ② 日中移動支援に活用できそうな車両はあるか
- ③ 既に取り組んでいる移動支援

参加者の事前アンケートやグループワークで出た意見をまとめ、課題解決に向けた取り組みを進めていきます。



認知症の方への関わりと小諸市民の健康状態について共有しました。

【認知症初期集中支援チームの活動報告】

地域ケア推進会議は、認知症初期集中支援チームの活動をはじめ、小諸市の認知症に係る課題やそれに対する取り組みについて協議しています。

認知症初期集中支援チームでは、認知症の人やその家族に早期に関わり、支援体制を構築することを目的に、受診支援、日常生活・介護に関わる支援、地域との関わりに関する支援、家族支援を行っています。会議の中では、チームの活動報告を受け、「認知症家族介護者の負担・不安を減らす対応策」の最近の取り組みと現状について意見交換を行いました。

【生活習慣病／高齢者の健康について】

健康づくり課から「小諸市における生活習慣病」について、高齢福祉課からは「小諸市の高齢者の健康状態」について、それぞれのデータを示して報告がありました。医療費の上位を占める糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病や糖尿病や腎臓の病気から人工透析にならないような対策が若いうちから必要です。

高齢になればそこに病院への送迎や、介護サービスが必要になったり、透析が必要な方は施設入所に制限が出るなど将来の生活に大きな支障を伴いかねません。高齢期になっても生活習慣病対策が必要です。

「終活支援セミナー」を開催しました！！

11月11日（介護の日）、市民交流センターのステラホールにて、第2回終活支援セミナー「知って備える介護相談会」が開催されました。

市内外21か所の介護施設・団体・機関にご協力いただき、介護施設の選び方について動画を視聴したり、各施設の方に直接相談ができる場となりました。

参加された方からは「いろいろな施設があって驚いた」「持ち物整理について聞きたい」「将来的な不安が多かったが、話を聞いて安心することができた」「また開催してほしい」などの声が多数寄せられました。そこで令和6年1月28日（日）には講演会「持ち物の整理講座」を開くことが決まりました。どうぞお気軽にお出かけください。

